

福岡市教育センター G 研研究主題

家庭生活を豊かにするための実践力をはぐくむ学習活動の在り方
— 目標設定力が身に付く指導と評価の工夫 —

小学校第 5 学年 1 組 家庭科学習指導案

1. 題材名「めざせ！せんたくの達人」

2. 指導観

- 毎日着ている衣服について、特に意識をもって深く考えている児童は少ない。洗たくについては、家族の分を洗濯機がまとめて洗い上げ、また衣服については、親の手で整えられたものを毎日無意識に着ているのが実態である。今後、楽しく豊かな自立した生活を送っていくためには、衣服についての関心を高め、気持ちよく着たり大切に着たりするために必要な手入れの仕方が分かり、日常生活で実践できるような素地を育てておくことが大切であると考えます。

そこで本題材は、洗濯の必要性が分かり、日常着の洗濯の学習を通して、洗濯に必要な洗剤・用具・洗い方などの基礎的な技能を習得させ、日常生活の中で、進んで衣服の手入れをしようとする実践的な態度を育てることをねらいとしている。

洗たくは、どの家庭でもほとんど毎日のように行われており、日常着程度であれば、学習したことを家庭実践へとつなげやすい題材であると考えます。基礎的な技能を身に付け、それが生活の中で生かされたとき、家族の一員としての自分に気付き、家族や周りの人々にとって、よりよい生活を創り出そうとする実践的な態度が育つと考えられる。さらに、水や洗剤を無駄にしない洗たくの仕方を知ることによって、環境に配慮した家庭生活の工夫にも発展させることができ、本題材は意義深いと考えます。

- 本学級の児童の洗たくに関する実態調査から、手洗い洗たくをしたことがある児童は、37人中25人で、半数以上の児童が経験していることが分かった。その中で3回以上の洗たく経験がある児童がほとんどで、手洗いした衣服としては、ハンカチやくつ下・Tシャツ・体操服など簡単に手洗いできるものであった。また、衣服以外にも上靴を洗った経験がある児童が多くいた。洗たくしたことのある衣服のほとんどは、その日に自分が着ていた衣服だった。

アンケートに手洗い洗たくの手順を書かせると、37人中6人は正確に書くことができていたが、5人の児童は全く書くことができなかった。その他の児童は、おおまかには書いていたものの、「絞る」過程や「すすぐ」過程がぬけた手順を書いていた。このことから、児童は一つ一つの洗たくの過程において、手間をかけることで、汚れの落ち方や水の使用量にもちがいがあるという操作の意義を認識していないことが分かる。また、手洗い洗たく経験が多い児童の中には、汚れを落としやすくするために、お湯につけておくといった工夫を書いている者もあり、生活経験の差がよく表れていた。一方、手洗い洗たくの経験がない児童は、「家族が洗濯機でまとめて洗たくしてくれるため、洗たくの機会が生活の中で与えられない。」という理由が最も多かった。しかし、洗たくの経験はなくても、洗たく物を干したり、とりこんだり、たたんだりする経験は、低学年のうちからお手伝いとして経験している児童が8割以上いた。

洗たくに関しては、「洗たくの仕方を知りたい。」「自分で上手に洗たくできるようになりたい。」と興味を持っている児童は多かった。

- 指導にあたっては、洗たくの達人になることを目指して、洗たくの仕方に関する知識と技能を身に付けていく中で、自分の技能を知り、自分に合った適切な目標設定力を育てたいと考える。その目標を一つ一つ達成していくことで、技能レベルも上がっていくであろうし、習得した知識と技能を家庭生活の中でも生かすことができると考える。

そこでまず、「気付く」過程では、着用した T シャツと未着用の T シャツにニンヒドリン溶液を吹きつけ、汚れの 1 つであるたんぱく質の検出実験を行い、衣服の汚れについて気付き、自分たちの衣生活について振り返らせる。次に、前もって汚した布と汚れたての布を洗い、早

いうちに洗うと汚れがとれやすいことを示範実習を通してとらえさせ、洗たくの必要性に気付かせる。さらに、洗たくをするための手順を考えさせ、その手順を全員で確認した後に、次の洗たく実習の計画を立てさせる。

「見通す」過程では、前の時間に確認した手順にそって、試しの体操服洗たく実習をグループごとに行う。その際、「洗う」「絞る」「すすぐ」「干す」といったそれぞれの段階における仕事の内容を記録させ、実習後の振り返り活動で活用させる。また、その記録をもとに、教師は洗たくの手順を段階ごとにまとめた「ステップ表」を準備しておく。

「探る」過程では、グループで行った試しの洗たく実習を、教師が準備しておいた「ステップ表」で再度振り返らせ、もっと上手に洗たくをする方法や仕事の内容を「洗たくの達人ビデオ」を通して気付かせる。その際、新たに気付いた仕事内容を「ステップ表」に加え、完成させる。次に、「ステップ表」を見ながら、技能について自己チェックさせ、自分に合った適切な洗たく目標を考えさせる。

さらに、その目標にそって、個人で体操服の洗たく実習を行う。2人1組になり、片方が洗たくをしている間は、もう片方が、目標を達成しているかどうか「キラリカード」で評価していく。実習後に、友達からアドバイスカードを受け取り、自己評価をすることで目標達成度を把握し、次の目標設定へとつなげさせていく。

「まとめる」過程では、次の自分の目標を設定していくとともに、品質表示や取り扱い絵表示の読み取り方、さらには環境にやさしい洗たくの仕方についても考えさせていく。

「生かす」過程では、休日や夏休みに家庭で実践させる。それをチャレンジカードに自己評価させ、家族からのアドバイスも書いてもらうようにする。

3. 目標

- 関心をもって衣服の汚れを観察し、洗濯をとおして、自分の目標を立てて、衣服を清潔に整えようとする。
- 汚れに合った洗い方と、環境にやさしい洗たくの仕方を工夫することができる。
- 手洗いのよさがわかり、洗い方、すすぎ方、絞り方、干し方ができる。
- 日常着の手洗いの仕方を知る。

4. 学習計画（全5時間）

関：家庭生活への関心・意欲・態度

創：生活を創意工夫する能力

技：生活の技能

知：家庭生活についての知識・理解

過程	配時	主な学習活動と内容	教師の支援と留意点	評価規準<評価方法>
気付く	1	1. 衣服の汚れを観察し、洗たくの必要性に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ○着用した T シャツと未着用の T シャツの汚れの違いを比べさせる。 ○着用した白い T シャツにニンヒドリンをかけ、汗汚れを浮き出させて見せる。 	
		①教師の演示（ニンヒドリンの実験）を見て、分かったことを発表し、洗濯の必要性に気付く。		
		衣服のよごれにと手入れについて考えよう。		
		②汗よごれのほかにどのような汚れがつくかを考える。	○衣服を汚した場面を思い出させる。	

		<p>③汚れをそのままにしておく とどうなるかを話し合う。</p> <p>④洗たくをするための手順を 考え，実習の計画を立てる。</p>	<p>○前もって汚した布と汚 れたての布を洗い，早 く洗うと汚れがとれて いくことを示範実習を 通してとらえ，洗たく の必要性に気付かせる。</p> <p>○事前アンケートから出 た手順項目をカードに しておき，どれが最初 にするか考えさせる。</p> <p>○グループで手順につい て話し合わせる。</p>	<p>知：衣服の汚れ方が分 かり，衣服を大切に 着るために洗たくの 必要性を理解してい る。 <学習プリント分析></p>
見 通 す	1	<p>2. グループで洗たく実習を行 う。</p> <div data-bbox="384 757 1222 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手順にそって，グループで洗たくをしよう。</p> </div> <p>①グループで2枚，体操服 を洗たくする。 ※前半1枚，後半1枚 ※各15分間 <グループでの役割分担> *洗たくをする人(各1人) *時間を計る人(1人) *記録をとる人(2～3人)</p> <p>②自分達のグループの洗たく を振り返り，学習のまとめ をする。</p>	<p>○洗たくに必要な道具を 種類ごとに分けて用意 しておく。</p> <p>○手順をグループで確認 し，グループの目標を 立てさせる。</p> <p>○記録者は，仕事の内容 の他に，工夫や疑問， 気付きなども記入させ る。</p> <p>○洗たくの記録をもとに， 自分達のグループの洗 たくのしかたを振り返 らせる。</p>	<p>技：手順に沿って，洗 たくをしようとして いる。 <実習チェック> <学習振り返りシート 分析></p>
さ ぐ る	1 本 時	<p>3. 前時の洗たく実習を振り返 り，自分の課題に気づき，次 の目標を設定する。</p> <p>①前時の洗たくを振り返り， 学習のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="368 1883 1177 1957" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の洗たく目標を決めよう。</p> </div> <p>②洗たくの達人ビデオを見て， 新たに気付いた仕事の内容 を発表し，ステップ表を完</p>	<p>○前時に書かせた仕事の 内容をカードにしてお き，段階ごとに分けて 提示していく。</p> <p>○段階ごとにビデオを止 め，児童から出た仕事 の内容をステップ表に</p>	

		<p>成する。</p> <p>③今の自分の洗たくに関わる基礎的な技能について確認する。</p> <p>④次の洗濯目標を決め，発表する。</p> <p>⑤学習のまとめをし，次時の内容を知る。</p>	<p>加えていく。</p> <p>○完成したステップ表を使って、それぞれの段階における自分の到達度を確認させる。</p> <p>○目標となぜその目標にしたのか理由も考えさせる。</p> <p>○次の洗たく実習に必要な道具などの確認をする。</p>	<p>関：自分の洗たく目標とその設定理由を考えることができる。</p> <p><ステップ表分析></p> <p><学習ふり返りシート分析></p>
さぐる	2	<p>4. 前時に立てた目標にそって，体操服の洗たく実習を行う。</p>		
		<p>目標達成をめざして，上手にせんたくをしよう。</p>		
まとめる		<p>①体操服の洗たくをする。洗たくをしないときは、「キラリカード」を記入する。</p> <p>②互いに「キラリカード」を交換し合い，自分の洗たくを振り返る。</p> <p>③学習のまとめをし，次の自分の目標を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質表示や取り扱い絵表示の読み取り方について ・環境にやさしい洗たくの仕方について 	<p>○グループの中で，一人ずつ洗たくをさせ，残りの児童には，目標が達成できているかやよかったところ，努力点などを「キラリカード」に記録させていく。</p> <p>○品質表示や取り扱い絵表示を教える際は，自分の着ている衣服を使って調べさせる。</p>	<p>技：自分の目標が達成できる洗たくをすることができる。</p> <p><実習チェック></p> <p><アドバイスカード分析></p> <p><学習ふり返りシート分析></p>
課外		<p>1. 学習したことをもとに，家庭で洗たくの実践をする。（休日や夏休み）</p> <p>2. 家庭での洗たくで，工夫している所などを調べる。</p>	<p>○「洗たくチャレンジカード」に記録させていく。</p>	

5. 本時 平成16年7月14日(水) 第5校時 計画(3/5) 5年1組教室にて

(1) 本時目標

○自分の技能に合った洗たく目標を設定することができる。

(2) 本時指導の考え方

前時までに児童は、洗たくの手順を大まかにつかみ、その手順にそって、グループで2枚の体操服を洗たくしている。その際、実際に洗たくをするのはグループの代表者で、他の児童には、時間係や記録係といった役割を分担した。記録係の児童には、「洗う」「すすぐ」「絞る」「干す」といったそれぞれの段階における仕事の内容を詳しく記録させておいた。実習後の児童は、「今度は自分も洗たくをしてみたい。」と、次の実習にむけての意欲を膨らませていた。

そこで本時では、次の体操服洗たく実習に向けて、自分の技能に合った洗たく目標をもたせるために、次のような手立てを仕組んだ。

<手立て①> 「洗たくの達人ビデオ」作成

グループごとの洗たくの記録をもとに、「洗う」「すすぐ」などの段階ごとにおける仕事内容(カードにしたもの)を黒板に掲示し、自分達の洗たくをふり返らせる。次に、「洗たくの達人ビデオ」を段階ごとに見せ、自分達の洗たくにはない仕事内容を自由に発言させ、黒板のステップ表に新たにカードを掲示していく。このように児童から出てきた新しい仕事内容をステップ表に加えていくことで、上手に洗たくをするための知識を増やすことができ、次の洗たく目標を具体的に設定することができる。と考える。

<手立て②> 「ステップ表」の活用

めざす児童の姿を達人の段階として、「ステップ表」を完成させる。そうすることで、ここまで自分ではできているといった、自分の実態を視覚的にもとらえることができると考えた。また学習プリントにも黒板と同じステップ表を記入させ、それに自分の技能を自己チェックさせることで、より具体的な目標が見えやすくなるよう工夫する。

(3) 準備

児童：学習ふり返りシート，学習プリント「ステップ表」

教師：洗たくの達人ビデオ，各段階における仕事の内容カード

(4) 展開

関：家庭生活への関心・意欲・態度

過程	配時	学習活動と内容	教師の支援と留意点	評価規準（評価方法）
さ ぐ る	5	1. 前時の洗たく実習を振り返り，本時学習のめあてを確認する。 ①洗たくの手順を全体で確認する。 ②学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に児童が書いた洗たくの仕事内容をカードに書いておき，段階ごとに黒板に掲示しておく。 ・児童の洗たくの記録に書かれた内容をステップ表（学習プリント）にもまとめておく。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて 自分の洗たく目標を決めよう。 </div>			
	20	2. 洗たくのステップ表を完成する。 ①洗たくの達人ビデオを見て，新たに気付いた仕事の内容を発表し，ステップ表を完成する。 ②今の自分の洗たくに関わる基礎的な技能について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントとなる所を中心に「達人ビデオ」を編集し，準備しておく。 ・段階ごとにビデオを止め，気付いたことを自由に発表させる。 ・洗剤液の濃度と汚れの落ち方を示すグラフと実物標本を準備しておく。 ・手洗い洗たくの拡大写真も準備しておく。 ・完成したステップ表を使って，それぞれの段階における自分の到達度を確認させる。 	
15	3. 自分の洗たく目標を設定する。 ①自分の目標と思うステップ番号を書き，その目標設定の理由を考える。 ②自分の目標とその設定理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定できない児童には，次に一番出来るようになりたいことは何かを机間指導をしながら聞く。 ・目標設定理由を書いていない児童には，ステップ表を提示しながら，今日の学習をふり返らせる。 	関：目標設定理由を具体的にまとめ，自分の洗たく目標を設定しようとしている。 <ステップ表分析> <学習ふり返りシート分析>	
5	3. 学習したことを振り返り，本時のまとめをする。 ①「今日の学習で」を書く。 ②次時の学習内容を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ふり返りシートに自己評価させる。 		

